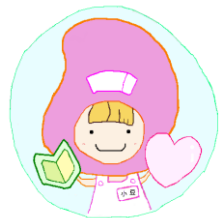


みなさんこんにちは！木枯らし1号も吹き、朝晩の冷え込みが強くなってきましたね。実習、テスト、看護過程の展開など課題が多く、くじけそうな時もあると思いますが看護師になる気持ちを持ち続け乗り越えてくださいね☆必ず今やっている事が力になりますよ♪ ファイト



# 土曜講座

日程	メニュー	講師
7/18	認知症について学ぼう	看護師
9/19	足浴の実践	看護師
10/17	移乗介助の方法	看護師
11/21	一時救命処置の実践	看護師
12/19	採血の実践	看護師
1/16	糖尿病について学ぼう・栄養指導	栄養士
2/6	口腔ケアの実践	看護師

## 11月21日 一時救命処置の実践

11月の土曜講座は一時救命処置の実践です。心肺停止時の迅速な処置が命を救う第一歩になります。特に看護師は患者さんの近くにいるので、第一発見者になる確率が高いのです。一時救命処置を慌てず、冷静に判断し行えるように実践を中心とした講義を行います。皆さんの参加をお待ちしています♪

13:50 小豆沢病院外来待合室集合

申し込み方法は簡単です

電話かメールで参加しますと伝えるだけです。当日は動きやすい服装と筆記用具持参で参加してください。資料の準備などがあるため11/17(火)17時までに申し込みをお願いします。

電話：03-3968-7993 (看護学生室直通 担当者：村上、峠)

メール：kangakusei@kenbun.or.jp

学校名、学年、名前を記入し土曜講座参加とメールしてください。



昨年の土曜講座一時救命処置の様子です。講師の看護師は日本 ACLS 協会のトレーニングを受けています。



NEFに参加しませんか

# Nurse Egg Festival

～2015年第25回～

What's Japanese problem!?

貧困から見える現状



日時：2015年11月22日 9:00～15:30  
場所：お茶の水 全労連会館

- ★ NEFの説明からします・・・
- ★ Nurse Egg Festival の頭文字をとってエヌイーエフと読み、関東(1都4県：東京・千葉・神奈川・栃木・茨城)の看護学生が集う学習、交流会です。実行委員会を立ち上げ約半年間準備を行い、当日の司会進行なども実行委員が中心となり行います。参加学生が主体的に学べるように学習発表を行ったり、講演を聞いたり、グループディスカッションで他の学生の意見を聞いたりと濃い内容になっています。学習だけではなく景品付きのゲームもありお楽しみも・・・
- ★ 今回は将来看護師として知っておく必要のある貧困問題に焦点をあて学習します。子供の貧困、高齢者の貧困、ワーキングプアの問題は受診抑制につながり健康が脅かされ死亡事例も報告されています。今回は様々な角度から今の日本の現状を学びます。看護学生なら誰でも参加できるので、興味のある方は小豆沢病院までお問い合わせください。



2016年卒募集中!!

地域を支える医療・看護 一緒にやりませんか

# 病院見学説明会

インターンシップ付き



私たちの病院は、いつでも、どこでも、だれでも安心して受けられる良い医療を地域の人々とともに作りあげてきました。私たちは、患者さまの生活や労働の実態も見つめ、豊かに人間らしく生きることができるよう援助することをめざし、「やさしさと思いやり」を抱いて患者様を看護しています。「患者さまのことを一番に考える看護師になりたい」そんなあなたを私たちは求めています。ぜひ、見学にいらしてください。

## 随時開催

### 申し込み・問い合わせ

小豆沢病院看護学生室 峠・村上  
直通電話:03-3968-7993  
mail:kangakusei@kenbun.or.jp



## 新人研修レポート

10月に救命救急パート2研修を行いました。事例をもとにどのように行動するか考え、除細動器や挿管の介助、固定方法など実践を通して学びました。慌てずに落ち着いて対応できるようにどの研修生も真剣に取り組みました。



## 奨学生を募集しています!!

小豆沢病院の奨学生制度はお金だけの関係ではなく、毎月奨学金を受けている学生が同じ日に集まり学校での悩みや今やっていることなどを報告したり、医療の情勢を学んだりしています。奨学生になる時期や学校はバラバラですが将来同じ病院で働く仲間として学生時代からの関わりを大切にしています。

### <応募資格>

- ・看護師・保健師養成機関在学者または入学決定者。
- ・養成機関卒業後当院に就職する意志があり、奨学生活動に参加できる者。

### <給付金額>

月額/5万円 返済なし  
東京都、日本学生支援機構など併用可

### <奨学金説明会>

11月21日(土)  
10時~12時

- ・事前にお問い合わせください



NEFのテーマに沿って、貧困問題について学習を行い、高齢者の独居生活の実際を知るため小豆沢病院の患者さんの協力で自宅訪問インタビューを行ってきました。

全てのお申込、お問合せは小豆沢病院学生室(村上・峠)まで

直通TEL:03-3968-7993 E-mail:kangakusei@kenbun.or.jp

携帯TEL:080-1236-0698

小豆沢病院学生室は看護学生の応援をする事で、将来一人でも多くの看護師が誕生する事を願っています。そのために看護体験や土曜講座など様々な企画を行ない、通信を中心にして参加を呼びかけています。また、それ以外にこちらから病院及び関連施設におけるボランティアのご協力をお願いする事もあります。皆さんの個人情報はそのための為に活用しています。

お申し出があった時には通信の停止、名簿からの削除を速やかに行いません。

